

第5章

情報モラルと 情報セキュリティ

基本編



基本
課題

1

著作権について考えよう



ふだん、何気なく友人と話していることの中で、著作権の取りあつかいについてまちがったことを言っている、または、まちがったことをしているのは、だれのどの部分でしょうか。

a. ソフトウェア

A君 あの〇〇〇というゲームソフトを買ったよ。

B君 あっ。それ、ぼくも欲しかったんだ。コピーしてよ。

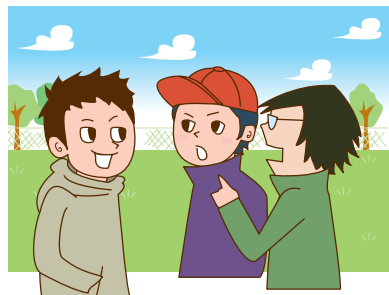
A君 いいよ。自分が買ったものだから、いくらコピーしてもかまわないよね。

C君 ぼくも欲しいけど、それは著作権法に反するんじゃない？

B君 他の人にコピーしたものを売ったりしなければいいんだよ。

C君 売らなくても、他の人にコピーして配ることはいけないと思うよ。

B君 でも、バックアップ用にコピーすることは許されているんだよね。



まちがっている部分 _____

b. 画像、音楽

Aさん この前、私の好きなアニメのキャラクターをパソコンの壁紙かべがみに設定したのよ。

Bさん それって、無断ですと著作権法に反するんだよ。

Cさん 音楽でも画像でも、自分が個人的に楽しむ場合は著作権の問題はないんじゃないか？

Bさん それじゃ、パソコンの壁紙かべがみじゃなくて、自分のWebページに使ったらいけないことになるのね。

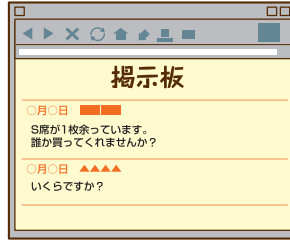
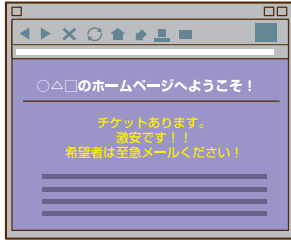
Aさん でも、アニメのキャラクターの色を画像処理ソフトで変えたら、その画像の著作権は私に移るのよね。そうすれば自分のWebページに使ってもかまわないのよね。

まちがっている部分 _____

情報の信頼性、問題のあるサイト、迷惑メールの3つについて、インターネットを利用するときに、どんなことに注意しなければならないかを考えましょう。

a. 情報の信頼性

インターネットでコンサートのチケットを買うときに、最も被害にあいにくいと考えられるものを①～③の中から選び、その理由をあげてください。

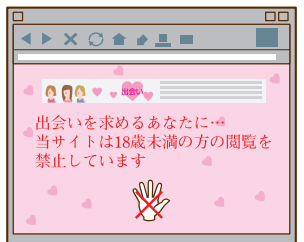
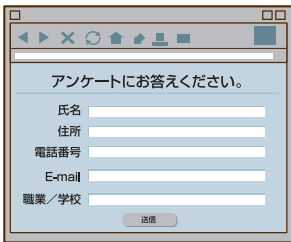


- ① 安く売っている個人のWebサイトで買う ② 電子掲示板や電子メールを通して個人から買う ③ 少し高くても名の知れたWebサイトで買う

理由 _____

b. 問題のあるサイト

次の①～③のサイトにはどのような問題や危険がひそんでいると考えられますか。それぞれの問題点をあげてください。



1

2

3

問題点

- ① _____
 ② _____
 ③ _____

情報モラルと情報セキュリティ (第5章) 解答と解説

基本課題1

著作権とは、文章、画像、音楽、プログラムなどの著作物を最初に作った人が持つ権利であり、著作物が作られた時点で著作物を作った人に発生するものです。これは年齢を問わず、大人でも子どもでも発生する権利です。他の人の著作物を利用するときは、それを作った人の許可が必要で、許可を得ずに利用することは著作権法で禁止されています。

a. ソフトウェア

たとえ自分が買ったものでも、ソフトウェアを無断でコピーして売ったり、配ったりすることは著作権法で禁止されています。ただし、いっぽうで一般的にはバックアップ用としてコピーすることは許されています。

解答 まちがっているのは、以下の部分です。

- ・A君の「いいよ。自分が買ったものだから、いくらコピーしてもかまわないよね」
- ・B君の「他の人にコピーしたものを売ったりしなければいいんだよ」

b. 画像、音楽

画像や音楽を自分のパソコンに取りこむなど、他人の著作物を個人的に楽しむことに限っては著作権上の問題はおこりません。ただし、他人の著作物を無断で自分のWebページに使ったり、発信したりすることは著作権の侵害にあたるため禁止されています。また、この事例のように、自分で手を加えて変更しても著作権は自分に移るわけではないため、変更したものをWebページに使うことも著作権法に反します。

解答 まちがっているのは、以下の部分です。

- ・Bさんの「それって、無断ですと著作権法に反するんだよ」
- ・Aさんの「でも、アニメのキャラクターの色を画像処理ソフトで変えたら、その画像の著作権は私に移るのよね。そうすれば自分のWebページに使ってもかまわないのよね。」

c. Webページ

無断で人物写真をWebページに使うことは肖像権の侵害にあたります。肖像権はスポーツ選手などの有名人だけが持っている権利ではなく、だれにもあるもので

す。したがって、友だちの写真を使いたいときは本人の許可が必要です。また、事例にあるように、自分のWebページから他人の著作物をダウンロードできるようにすることも著作権法で禁じられていますが、リンクをはることは著作権とは直接関係ありません。

解答 著作権法に反しているのは、以下の部分です。

- ・C君の「自分のWebページからテレビで放映された番組がダウンロードできるようにしているよ」
- ・A君の「勝手にリンクをはるのって、著作権法に反するんだよ」

基本課題2

個人情報とは、個人を特定することができる情報のことで、1つの情報では識別できなくても、複数の情報を組み合わせることによって個人を特定できる情報も個人情報とみなされます。したがって、性別や年齢なども個人情報としてあつかわれます。インターネット上で利用するハンドルネームは個人特有のものですが、一般的には個人を識別する情報とはみなされません。個人情報にともなう人権の侵害から個人を保護することを目的として、個人情報保護法が2003年に成立・公布され、2005年から全面的に施行されています。個人情報が他人に知られると、知らないところから勧誘や宣伝のダイレクトメールが届いたり、電話がかかってきたりすることが考えられます。また、クレジットカードの番号や暗証番号がもれてしまうと、不正に預金を引き出しされるなどの金銭的な被害にあうおそれがあります。その他に、個人情報が悪用され、何かの犯罪に巻きこまれるおそれもあります。

- 解答**
- ・知らないところから勧誘や宣伝のダイレクトメールが届いたり、電話がかかってきたりする
 - ・クレジットカードの番号や暗証番号がもれてしまうと、金銭的な被害にあうおそれがある
 - ・ストーカーなどの犯罪に巻きこまれるおそれがある